



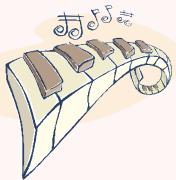
平成22年1月1日から病院敷地内全面禁煙となります。ご協力をお願いします。

「院内学級音楽会」の開催について

総務課 総務・研究協力グループリーダー 小林 充

平成21年度院内学級音楽会が、10月13日管理棟3階大会議室で開催されました。

今年は、小学生2名と中学生2名で、宮崎駿監督のアニメ映画主題歌「崖の上のポニョ」の楽器演奏と「Believe」の合唱を披露してくれました。わずか4名のミニオーケストラ兼合唱団でしたが、病氣と闘いながらも一生懸命練習した成果が存分に発揮され、息の合った演奏と合唱を聞かせてくれました。



後半は、毎年この音楽会に参加していただいているヴァイオリニストの飯田華代子先生と元気な仲間たちによる華麗なヴァイオリン演奏と、ふたばベルクワイアの皆さんに

よるハンドベル演奏を楽しみました。

本院からは、島田病院長、鈴木看護部長、白沢事務部長をはじめ多くの職員が参加し、子供たちの懸命な演奏に大きな拍手を送りました。



病院長からささやかなプレゼントが贈られました



飯田先生と元気な仲間達 井上さん、雨宮さん、飯田先生



ふたばベルクワイアの皆さん

Q&A 退院アンケートから

Q:紹介状がないと診察してもらえないのですか。

A:診察は行いますが、初診時に紹介状が無い場合は、診察料金等の他に「200床以上の病院における初診に係る特別の料金」として、本院では2,625円頂くこととしております。

紹介状をご持参いただく理由は、「普段の診療は、かかりつけの医療機関で、より高度で専門的な医療は、200床以上の病院で」との国の方針によるもので、病院の機能分担の考えから来るものです。

紹介状がない場合、予約も取れませんので、待ち時間も生じますし、予約をお取りの患者さんへも影響します。本院への受診を希望される方がいらっしゃいましたら、まずかかりつけのお医者さんにご相談のうえ、予約をお取り下さい(医療機関からのみ予約が取れます)。ご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

Q:短期入院時に自家用車を駐車させてもらえませんか。

A:入院時には、長期・短期にかかわらず、駐車はできません。駐車場の拡張を行い駐車台数の拡充につとめておりますが、外来患者さんも年々増加しており、短期であっても入院患者さん分は確保できません。現状をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

緩和ケアチームによる

緩和ケア教室のお知らせ

下記の日程で緩和ケア教室を開催します。毎月2回月曜日に開催し、月の前半は薬剤師による医療用麻薬の使用に関する内容です。月の後半は、緩和ケア医師と看護師による緩和ケア全般に関する内容です。どちらも午後1時30分から1時間程度です。予約は必要ありません。

患者さんやご家族、地域の住民の方などのご参加をお待ちしております。

日程

2010年1月18日、25日	5月10日、24日	9月13日、27日
2月 8日、22日	6月14日、28日	10月 4日、18日
3月 8日、29日	7月12日、26日	11月 8日、22日
4月12日、19日	8月 9日、23日	12月 6日、20日

場 所:病院4階カンファレンスルーム

担 当:緩和ケアチーム

医 師:飯嶋 看護師:井上 薬剤師:荒井

連絡先:山梨大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

緩和ケア看護師 井上(代表:055-273-1111内線3441)



『新型インフルエンザの現状』

感染対策委員会委員長 杉田 完爾

5月中旬に海外渡航歴のない神戸市の高校生数万名が新型インフルエンザに感染していることが確認されてから、国内ではゆっくりとではありますが、着実に感染者数が増加してきました。寒くなり始めた10月に入ってから感染者数の増加傾向が顕著になり、全国的には10月中旬に、山梨県では10月下旬に、1週間に1定点医療機関(全国に約5千の定点医療機関があります)を受診した患者数の平均が10人を超えて、『流行注意報』が出ました。(11月17日の時点で中北、峡東、富士・東部各医療圏で、1定点あたりの患者数が30人を超え、『流行警報』が出ました。)10月末までの推定感染者総数は430万人に達しており、今回の第一流行で全国民の4人に1人位が感染するのではないかと危惧されています(来年あるいは再来年に必ずやってくる第二流行でも同程度の感染者数が出ると予想されています)。

それでは、本格的流行に備えて新型インフルエンザにどう対処していけばよいのでしょうか。まず重要なことはパニックにならないで、落ち着いて行動することです。幸いな事に、今流行している新型インフルエンザは弱毒性(流行が危惧されていた強毒性の鳥インフルエンザとは異なります)ですので、早めに抗インフルエンザ薬のタミフルやリレンザの投与を受ければ、健康人に感染しても重症化率は2万人に1人未満、致死率は10万人に1人未満(季節性インフルエンザより低率)です。ただし、慢性の肺疾患・心疾患・腎疾患や糖尿病などの持病をお持ちの方や妊婦さんは、重症化しやすいですから、十分な予防対策が必要になります。不急の外出の自粛や帰宅

後のうがい・手洗いが基本ですが、外出時、特に大勢の人が集まる場所に出かける時はマスクを着用してください。インフルエンザは空気感染ではなく飛沫(咳・くしゃみ・会話の時の気道分泌物・唾液など)を介した感染ですから、感染者の近くにいるだけで感染することはありません。家族内に感染者や濃厚接触者がいる場合は、家庭内でのマスク着用と頻回の手洗いに加え、食事の時間(や場所)を感染者と同一にしないことが大切です。発熱や呼吸器症状がでた場合は、あわてずに安静を保ち、翌日に医療機関を受診することをお勧めします。たとえインフルエンザに感染していても、発熱後12時間までは迅速診断キットで陽性になりにくいことが知られていますので、発熱後すぐに医療機関を受診しても抗インフルエンザ薬の処方を受けられない場合が多くなります。一方、発熱などの症状が出る一日前から、感染力があることが知られていますので、面会などで病棟を訪れる際は、院内感染を防止するためにマスクの着用が必要となります。

新型インフルエンザワクチンは、感染阻止力はあまり高くありませんが、重症化の防止力は非常に高いと考えられています。10月下旬から、新型インフルエンザワクチンの医療機関への配付が始まりましたが、これまでの出荷量が極端に少なく、医療関係者への接種も完了していません(11月20日現在)。慢性疾患をお持ちの方や妊婦さんは、本院の受診診療科で優先接種証明書の発行を受ければ、本院だけでなく、お近くの指定医療機関でも接種を受けられますので、担当医にご相談ください。



やさしく 教えて! 第4回

1日看護師を体験して

甲府南高校 3年 遠藤 美奈



座談会で師長からの講評

今回看護師体験に参加して、学校では学べない多くのことをたくさん学びました。私は主に患者さんとの対話を体験させていただき、お話の中で患者さんは「看護師さんの何気ない一言にとっても勇気づけられる。感謝している。」とおっしゃっていました。また、指導して下さった看護師さんが「様々な人の人生にかかわることが出来るやりがいのある仕事ですよ。」と教えてくれました。このように多くの人に感謝しても

らえたり、やりがいがあると感じる事ができる看護師という仕事は、とても素敵な仕事だと思います。

看護師さんは同じ廊下を何度も何度も往復していて、想像以上に忙しそうでした。けれど、全く疲れた様子はなく、患者さんやお医者さんと明るく話しをしていて、見ていて元気がもらえました。看護師さんにとって薬の名前を覚えることも大切だけど、1番大切なのは心と心のコミュニケーションをとることなんだと感じました。

お忙しい中、時間を割いていただき、ありがとうございました。この体験で学んだことを進路選択に活かしていきたいと思っています。

甲府南高校 3年 土橋 滯

私が今回1日看護師体験に参加したのは、医療・看護の仕事に興味があり、詳しく知りたかったからです。看護師さんについて仕事を見学することで、今まで知らなかった「生の現場」を見ることができました。

しかし、最初は何をしていいのかわからず、ただ看護師さんの後をついていくという状態でした。その中で、看護師さんが明るく、笑顔で患者さんと接していくのを見るうちに、私の心も少しずつほぐれていきました。そして、患者さんと話すこともできて、コミュニケーションがとれるようになりました。このとき、看護師さんの笑顔の大切さを学びました。

今回体験に参加することで、看護の仕事は、とても大変だけれど、感謝され、やりがいのあることであると、改めて感じました。今回体験したことによって、ますます医療・看護の仕事に興味をわき、私の進路を考えるうえでとても大きなきっかけになりました。1日看護師体験に参加して良かったです。このような体験をさせていただきありがとうございました。



病棟でのミーティング

「いち押しのおすすめ料理です。いかがでしょう」

栄養管理部 栄養士 荒川 元喜

われわれ栄養管理部は、安心・安全で、感動と喜びを感じていただける食事を提供するよう日々取り組んでおります。その一環として、画一的な病院給食に飽き足りない患者さん、美食家の患者さんなどを対象とした「特別メニュー食」を提供しております（一般食を提供している患者さんが対象となります）。ただし、実費負担分300円を別途いただきます。

入院の日に、担当栄養士が特別メニューの写真を持参し、標準食と特別メニューとどちらになさるかお尋ねしています。

今後は、患者さんのアンケートからも熱烈な要望がある、めん類と寿司類に特に力を入れていきます。どのようなメニューが出現してくるかは、乞うご期待!!

なお、栄養管理部には「腕に覚えのある料理人」が数多く配置されており、味覚だけではなく視覚、嗅覚などからも、より一層おいしく味わえるよう演出しております。



ラーメンセット



にぎり寿司盛り合わせ

トリアージ訓練

災害・防災対策委員長 松田 兼一

皆さんこんにちは、防災・災害対策室の松田です。

本院では大地震などの大災害が発生した場合でも、地域の中心的な病院の一つとして機能出来るように、日頃から訓練をしています。今回ご紹介するトリアージ訓練もその一つです。



玄関でのトリアージ



黄色ゾーンでの治療の様子



対策本部



栄養管理部による非常食の炊き出し

トリアージとは、複数の傷病者の緊急度・重症度を評価し、救護、搬送及び治療の優先順位を決定する手法を指します。大災害時には限られた人員と限られた物資の中で、それらを最大限に活用する必要があります。いざという時に慌てる訳には参りません。そこで本院では毎年本格的なトリアージ訓練を行っています。本年7月18日に行いましたトリアージ訓練では病院職員と医学科・看護科学生で、総勢395名が参加しました。大勢参加することで実践さながらの訓練ができました。傷病者役の方をお願いして、自分を先に診てほしいと大声で叫んだり、応急処置しかできないことに対して文句を言うなど様々な役割を演じて貰いました。また付き添い役の方には親戚や友人の所在を尋ねたり、家族控え室で治療中の家族の容体を何度も尋ねたり、さらには治療終了後に避難場所について相談をもちかけたり、子供のミルクを作る水場を相談するなどの役割を演じて貰いました。院内の通信設備が破綻したという不便な設定にもかかわらず、非常にスムーズにトリアージ及び治療を行うことができました。

今年は新型インフルエンザの流行もあり、地域の方々にはご参加いただけませんでした。来年のトリアージ訓練は“地域連携強化”をテーマに、5月22日(土)に行う予定です。来年は周辺病院の職員や市町村職員の方々だけではなく、地域住民の皆様も参加もお願いし、実施したいと思います。見学だけでも大歓迎です。多数ご参加いただければ幸いです。よろしくごお願い申し上げます。

病院敷地内全面禁煙のお知らせ

病院長 島田 眞路

禁煙については、以前から検討を進めてまいりましたが、平成22年1月1日から病院敷地内の全面禁煙を実施します。併せて禁煙外来の開設に向けて準備を進めています。外来通院中の患者さん、入院患者さんにもご協力いただき、皆さんの健康を守るため、禁煙を推進してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



消防訓練実施

本院では、10月23日午後1時30分から消防訓練を実施しました。4階西病棟で火災が発生したことを想定し、甲府地区広域行政事務組合甲府南消防署の協力のもと、通報・連絡・放送・自衛消防隊による初期消火・避難誘導・救護・工作・警備等の訓練及び各宿舎居住者の非常招集訓練を行いました。



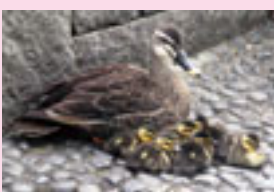
担送訓練

出火想定場所の4階西病棟では、緊張した雰囲気の中、患者さん役の職員には、垂直式救助袋を利用して地上に降りる避難訓練、2階西病棟からは避難用スベリ台による避難訓練も同時に行われ、訓練に参加した教職員は機敏に対応し実際の災害を最小限に留めるための行動の習得に努めていただきました。

また、閉会式後には、甲府南消防署の指導の下、消火器による初期消火訓練を実施し、今年度は新たな試みとして体育館の消火栓を使用しての放水訓練を実施しました。

参加者からは、屋外での消火栓の放水訓練は実体験ができて良かったとの感想がありました。

鳴が巣立ちました



6月に鳴の雛が生まれました。病院中庭ですくすく育ち、9月に巣立っていきました。餌の準備から掃除まで、世話をした職員の気持ちにこたえるように大きく成長し、その様子は大勢の人に安らぎを与えてくれました。